

投 信 概 況 (2025 年 7 月)

2025 年 8 月

モニタリング&エバリュエーションチーム

藤原 崇幸

本稿では、ETF を除く国内籍公募追加型株式投資信託について資金動向をまとめた。図表 1 に純資産総額と純流入額の直近 1 年間の推移、図表 2 に当月（2025 年 7 月）の GW 大分類別資金動向、図表 3 a に GW 大分類別の純資産総額シェア、図表 3 b に当月の GW 大分類別純流入額を示す。

なお、本稿で示す純流入額のうち、当月分は当社の推計値、その他の月は投資信託協会の公表値を使用した。

～純資産総額が初めて 150 兆円を超えるも、純流入額は前月をさらに下回る～

トランプ関税の日本や EU に対する税率が 15%に引き下げで一定の決着をみたことから、市場を覆っていた不透明感もやや和らぎ、日米の株式市場では TOPIX や S&P500、NASDAQ が一時史上最高値を更新するなど、大きく上昇した。このような中、2025 年 7 月のファンド全体の純資産総額は、前月から 5 兆 6,469 億円増加し、151 兆 4,966 億円と初めて 150 兆円を突破した。一方、資金フローをみると、急上昇した株式市場に対する投資家の高値警戒感もあり、2,660 億円の純流入に留まった。26 ヶ月連続の純流入ではあったものの、2024 年 1 月の新 NISA 開始来で最も低かった前月の純流入額をさらに下回った。

資金動向を GW 大分類別¹に見ると、多くの分類で純資産総額は前月から増加した。最も増加額が大きかったのは「グローバル株式（ヘッジなし）」で、純資産総額は 4 兆 4,039 億円増の 85 兆 304 億円であった。また、純資産総額の増加率が最も高かった「コモディティ」は 1,507 億円増の 1 兆 7,188 億円となり、2024 年 12 月以降 8 ヶ月連続で純資産総額が増加している。

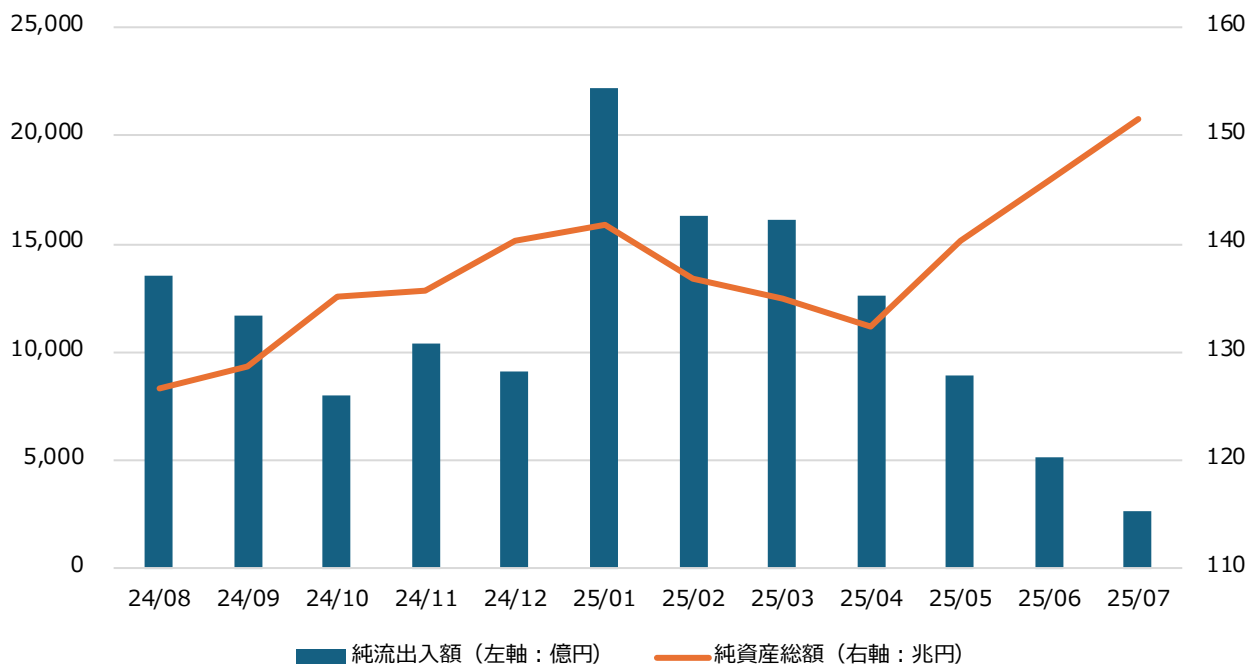
純流入額では、「グローバル株式（ヘッジなし）」が 61 ヶ月連続の純流入と相対的に好調を保っているが、2025 年 7 月の純流入額は 4,585 億円に留まり、新 NISA 開始来で最も低かった前月をさらに下回った。なお、「グローバル株式（ヘッジなし）」の中でもインデックスファンドは 4,429 億円の純流入と、分類内で相対的に高水準の流入が続いている。「国内株式」は、2025 年 7 月も 2,224 億円の純流出となり、3 ヶ月連続して GW 大分類内で純流出額が最も大きかった。

2025 年 7 月の個別ファンドの資金流入ランキングをみると、つみたて投資枠の対象となっているファンドのランクインは 2 本のみであった。一方、前月同様、毎月分配型のファンドが 2 本ランクインしている。

¹ SMBC グローバル・インベストメント&コンサルティングが独自に定めたファンド分類のこと。すべての国内籍追加型株式投資信託を対象とし、目論見書の記載事項をベースに、投資対象、投資地域、運用方針、投資手法に着目して分類を行っている。

【SGIC リサーチレビュー】

図表 1 純資産総額と純流出入額の直近 1 年間の推移（月末基準）



（出所）投資信託協会よりSMBCグローバル・インベストメント&コンサルティング作成

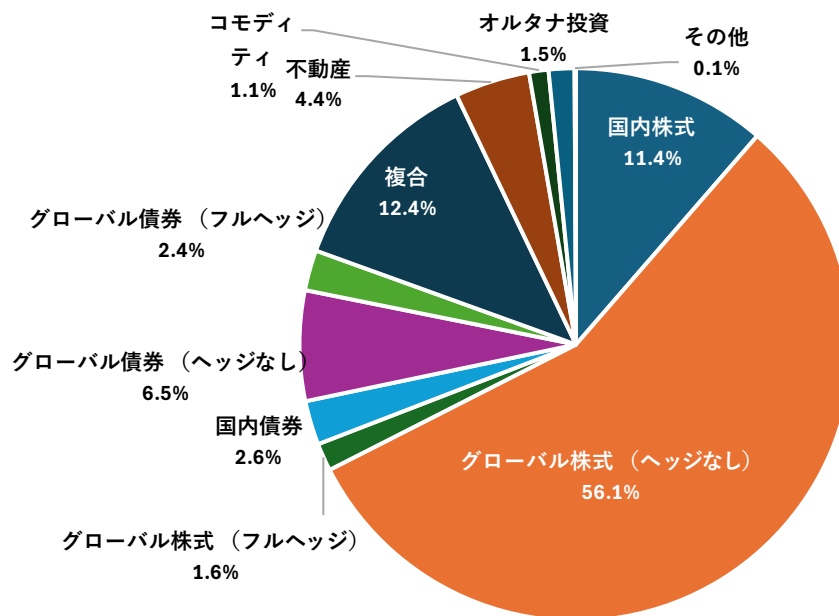
図表 2 2025 年 7 月の GW 大分類別資金動向（億円）

GW大分類	純資産総額				純流出入額
	25/06末	25/07末	増減額	増減率	25/07
国内株式	169,849	172,373	2,525	1.49%	-2,224
グローバル株式（ヘッジなし）	806,264	850,304	44,039	5.46%	4,585
グローバル株式（フルヘッジ）	24,508	24,591	83	0.34%	-396
国内債券	39,183	39,082	-101	-0.26%	262
グローバル債券（ヘッジなし）	95,956	97,776	1,820	1.90%	-337
グローバル債券（フルヘッジ）	36,232	35,754	-478	-1.32%	-389
複合	182,700	187,513	4,813	2.63%	659
不動産	63,856	66,329	2,473	3.87%	151
コモディティ	15,681	17,188	1,507	9.61%	1,019
オルタナ投資	23,100	22,820	-280	-1.21%	-723
その他	1,169	1,237	68	5.84%	55
合計	1,458,498	1,514,966	56,469	3.87%	2,660

（出所）投資信託協会よりSMBCグローバル・インベストメント&コンサルティング作成

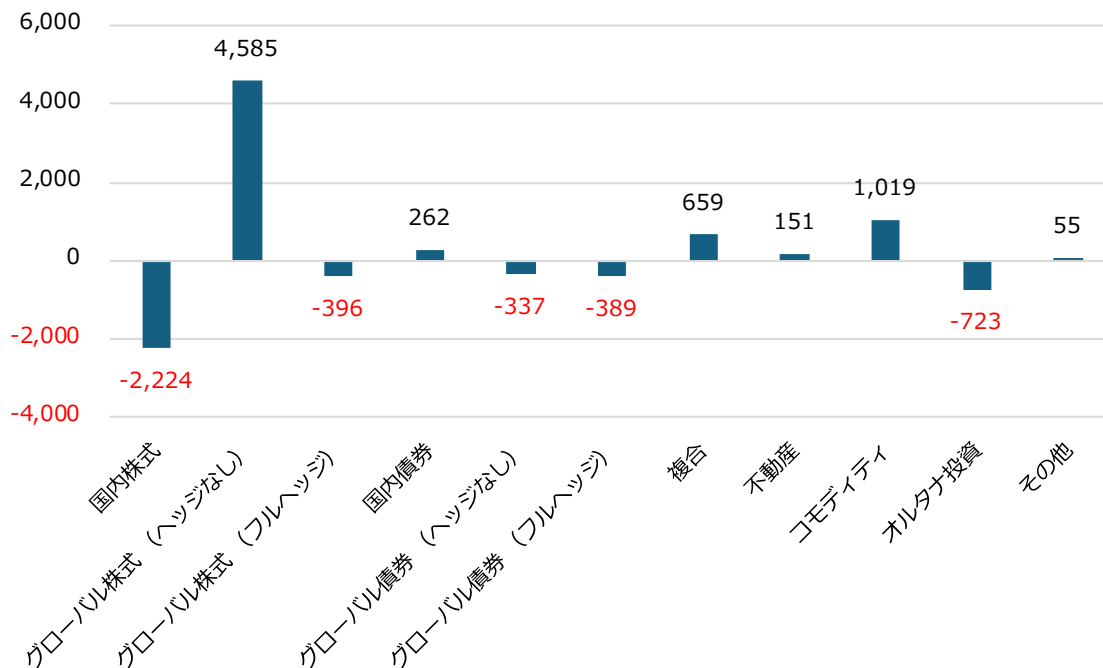
【SGIC リサーチレビュー】

図表 3a GW 大分類別の純資産総額シェア（2025 年 7 月末基準）



（出所）投資信託協会よりSMBCグローバル・インベストメント&コンサルティング作成

図表 3b 2025 年 7 月の GW 大分類別純流出入額（億円）



（出所）投資信託協会よりSMBCグローバル・インベストメント&コンサルティング作成

Appendix

図表 I GW 大分類別の純資産総額と純流出入額の直近 1 年間の推移（月末基準、億円）



（出所）投資信託協会より SMBC グローバル・インベストメント&コンサルティング作成

【SGIC リサーチレビュー】

図表Ⅱ 2025 年 7 月の純流入ランキング 10

No.	ファンド名	運用会社	純資産総額 (億円)	純流出入額 (億円)	NISA	
					つみたて	成長
1	eMAXIS Slim 全世界株式（オール・カントリー）	三菱UFJアセット	68,583	1,522	○	○
2	インベスコ 世界厳選株式オープン＜為替ヘッジなし＞（毎月決算型）	インベスコ	23,971	1,499		
3	eMAXIS Slim 米国株式（S&P500）	三菱UFJアセット	79,864	919	○	○
4	フィデリティ・グロース・オポチュニティ・ファンド Dコース（毎月決算・予想分配金提示型・為替ヘッジなし）	フィデリティ	3,374	472		
5	ピクテ・ゴールド（為替ヘッジなし）	ピクテ	3,962	383		○
6	国内債券インデックス・オープン（ラップ向け）	インベスコ	737	275		○
7	インベスコ 世界厳選株式オープン＜為替ヘッジなし＞（年1回決算型）	インベスコ	2,896	267		○
8	先進国株式インデックス・オープン＜為替ヘッジなし＞（ラップ向け）	インベスコ	1,633	244		○
9	東京海上・宇宙関連株式ファンド（為替ヘッジなし）	東京海上	2,038	228		○
10	ROBOPROファンド	SBI岡三	881	216		○

（出所）投資信託協会より SMBC グローバル・インベストメント&コンサルティング作成

図表Ⅲ 2025 年 7 月の純流出ランキング 10

No.	ファンド名	運用会社	純資産総額 (億円)	純流出入額 (億円)	NISA	
					つみたて	成長
1	先進国債券インデックス・オープン＜為替ヘッジなし＞（ラップ向け）	インベスコ	1,100	-462		○
2	デジタル・トランスフォーメーション株式ファンド	日興アセット	3,139	-349		○
3	フィデリティ・世界割安成長株投信 Bコース（為替ヘッジなし）	フィデリティ	9,092	-255		○
4	グローバル・プロスペクティブ・ファンド	日興アセット	3,935	-221		○
5	日経225ノーロードオープン	アセットOne	2,913	-188		○
6	グローバルESGハイクオリティ成長株式ファンド（為替ヘッジなし）	アセットOne	10,722	-171		○
7	グローバル・エクスポネンシャル・イノベーション・ファンド	日興アセット	3,275	-170		○
8	楽天日本株4.3倍ブル	楽天	495	-169		
9	netWIN GSテクノロジー株式ファンド Bコース（為替ヘッジなし）	ゴールドマン	13,457	-168		○
10	外国株式SMTBセクション（SMA専用）	三井住友トラスト	3,279	-163		○

（出所）投資信託協会より SMBC グローバル・インベストメント&コンサルティング作成

（END）

本資料について

【免責事項】本資料は情報提供を目的としてSMBCグローバル・インベストメント&コンサルティング株式会社(以下「SGIC」といいます)が作成したものであり、証券の売買の勧誘を目的としたものではありません。本資料は信頼できると思われる情報に基づき作成されていますが、内容の正確性、完全性を保証するものではありません。本資料に示された見解や予測は、資料作成時点でのものであり、事前の通知なしに変更することがあります。本資料は SGIC の著作物です。ただし、本資料で使用している指数等に係る著作権等の知的財産権、その他一切の権利は、当該指数等の開発元または公表元に帰属し、SGIC による当該指数等の使用について当該開発元または公表元は一切責任を負いません。詳細は <https://www.smbc-gic.co.jp> でご参照いただけます。投資に関する最終的なご判断は、お客さまご自身でしていただきますようお願い申し上げます。なお、本資料で使用したグラフおよび数値は、過去の実績であり、将来の結果を約束するものではありません。

【SGIC が行う金融商品取引業に係る留意事項】 SGIC は投資一任業務及び投資助言業務を営んでいます。SGIC が、投資一任契約に基づき投資する及び投資顧問契約に基づき助言を行う金融商品または金融派生商品は、金利・通貨の価格・金融商品市場における相場その他の指標の変動により損失が生じる恐れがあります。

変動要因としては、有価証券等の価格変動リスク、金利や金融市場の変動リスク、十分な流動性の下で取引が行えない流動性リスク、有価証券等の発行体の信用リスク等、及び外貨建て資産に投資している場合には為替変動リスクがあります。したがってお客さまの投資元本は保証されているものではなく、金融商品等の価値の下落により、投資元本を割り込むことがあります。

投資顧問契約及び投資一任契約に対する報酬(投資顧問報酬)は総契約資産額等に対して最大年率 0.880%(税込)、契約に基づき成功報酬が発生する場合があります。また、お客さまがご購入いただく金融商品において手数料や間接的に負担する費用等が発生する場合がありますが、これらについては、お客さまとの契約内容によって異なりますので、事前に表示することができません。

投資顧問契約等を締結される際には、事前に契約締結前交付書面等をよくご覧下さい。

商号等 SMBCグローバル・インベストメント&コンサルティング株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第449号
加入協会 一般社団法人日本投資顧問業協会